

だいず・えだまめの害虫防除に

# フルバトン<sup>®</sup> フロアブル5

powered by  
RYNAXYPYR<sup>®</sup>  
ACTIVE INGREDIENT

**だいず・えだまめ畑の  
マメシンクイガ防除に  
適期散布で被害粒を防ぐ!**



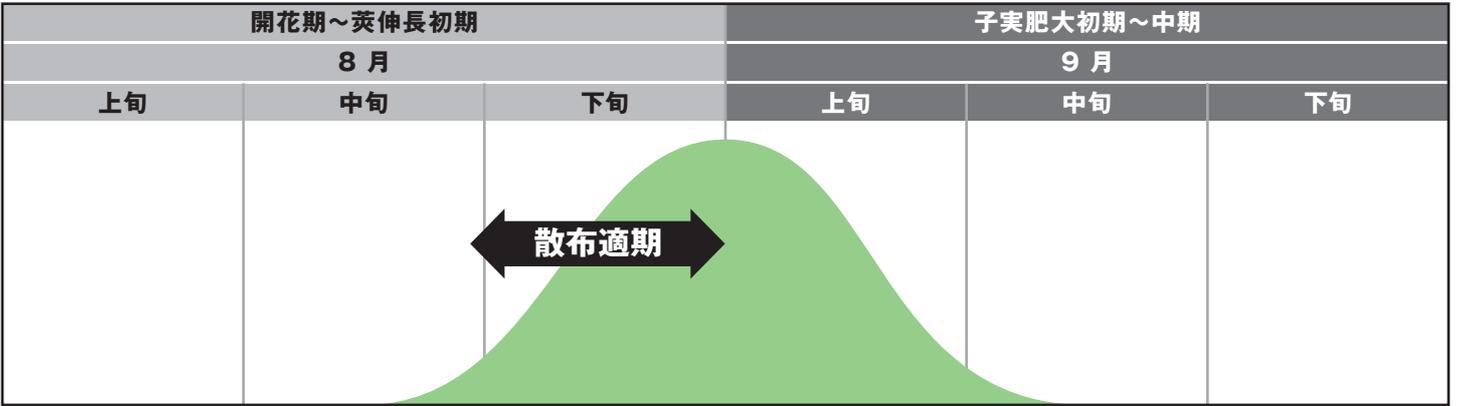
**だいず栽培の大敵  
マメシンクイガに!**



# 適期散布で、マメシクイガの被害粒を防ぐ!

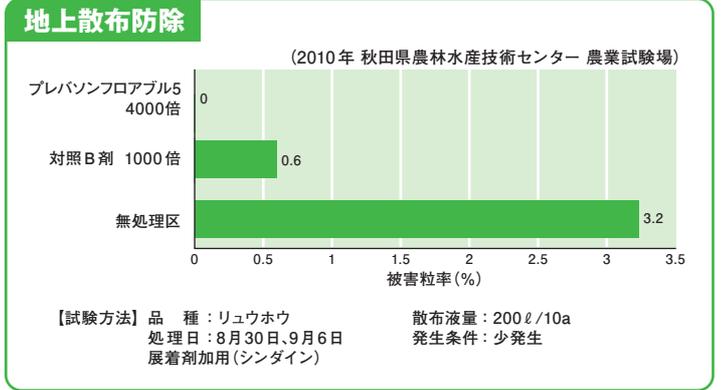
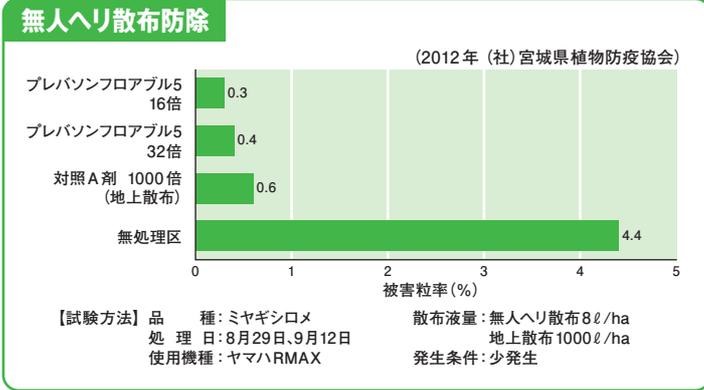
マメシクイガ発生ピークの前に散布することで、本剤の優れた残効を活かし、安定した効果を得ることができます。(マメシクイガ対象で2回防除が入る地域では1回目の使用をお勧めします)

## ■ マメシクイガ発生消長(モデル)と散布適期



※地上散布時は展着剤を加用してください。

## ■ だいち/マメシクイガに対する防除効果



## ■ 適用害虫と使用方法(適用表より一部抜粋)

2018年8月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農業の総使用回数
えだまめ	オオタバコガ ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
だいち	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ	16~32倍	0.8ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
いんげんまめ	ハスモンヨトウ	4000倍	100~300ℓ/10a			散布	

【上記以外の登録作物】 キャベツ、はくさい、かぶ、非結球あぶらな科葉菜類、タアサイ、あすっこ、アマランサス(莖葉)、なばな、だいこん、はつかだいこん、カリフラワー、ブロッコリー、茎ブロッコリー、はなごころレタス、非結球レタス、トマト、ミニトマト、なす、とうがらし類、ピーマン、きゅうり、ズッキーニ、メロン、すいか、とうがん、いちご、せり科葉菜類、パセリ、らっきょう、ねぎ、未成熟そらまめ、さやいんげん、実えんどう、さやえんどう、やまのいも、かんしょ、さといも、アスパラガス、ほうれんそう、モロヘイヤ、エンサイ、つるむらさき、パジル、しそ、えごま(葉)、ふき、クレソン(土耕栽培)、ごま、とうもろこし、オクラ、しょうが、たばこ

### △ 効果・被害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。●散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。●使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。●過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。●つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病

害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### △ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。●本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。●使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。●水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。●無人航空機による散布で使用の場合は、飛散しないよう特に注意してください。●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

マメシクイガ原因提供(表面)：石川県農林総合研究センター

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記載しましょう。

販売：日産化学株式会社／北興化学工業株式会社  
丸和バイオケミカル株式会社(五十音順)

製造：エフエムシー・ケミカルズ株式会社  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル8階  
www.fmc-japan.com 製品情報はこちらから→

